# Wireless Base Station RTR-500C 基本ガイド

本製品は親機としても中継機としても利用できます 本製品を中継機としてのみ使用する場合は 本製品付属のソフトウェアをインストールする必要はありません 裏面の "中継機として使ってみよう" をご覧ください



## RTR-500C でできること

### ① 親機として利用する



### ② 中継機として利用する

親機と子機の間に設置すると無線通信の距離を延長することができます。中継機として利用す る場合は、弊社オプションアダプタか市販の単3アルカリ乾電池を別途ご用意ください。



中継機については本書裏面をご覧ください。

本製品で用	いられる用語について
	RTR-500 シリーズ親機 (RTR-500C / RTR-500MBS(-A) / RTR-500NW / RTR-500AW / RTR-500DC)
子機	RTR-500C 対応のデータロガー(RTR-501 / 502 / 503 / 505 / 507S / 574 / 576)
中継機	RTR-500C(中継機として設定)
現在値	子機が計測している最新の測定値

株式会社 **ティアンドデイ** 

© Copyright T&D Corporation. All rights reserved. 2017. 07 16504580065(第 8 版) https://www.tandd.co.jp/



# RTR-500Cを 使い始める前に

### RTR-500C の基本的な設定をする

### **1.** RTR-500C 設定ユーティリティを起動します。

RTR-500C for Windows			
	10 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0		
RTR-500C for Windows	All and a set of the s		1.1
2 温度・温度グラフ	The second		
📝 マルチスケールグラフ			
Web Formate おんどとり Web Storage	-		
▶ 基本ガイド	10.00	1100	
<ul> <li>         ・</li></ul>	ALCONOM D	USB	<b>G</b>
検察を認識しないときは			C.
▶ アップデート情報	USB接続で、戦機の設定	主や子機の登録を	行います。
ユーザ登録・サポート			

### 2. 設定画面の [親機設定]をクリックします。

3.[親機設定]画面で親機名を入力し、[適用]ボタンをクリックします。



### 4. 設定画面で [警報 / モニタリング設定]をクリックします。

**5.** [警報/モニタリング設定]画面で次の情報を入力し、[適用]ボタンを クリックします。

見在値モニタリング *	[ON] を選択します
\$信/保存間隔*	測定値をモニタリングする間隔を選択します

\*送信 / 保存間隔は、子機の記録間隔以上の値を指定してください。 (子機の記録間隔が 10 分の場合、送信 / 保存間隔は 10 分以上を指定してください。)

親機設定	モニタリング	ON	
	モニタリング間隔	5 min.	
子機設定	現在値送信	OFF	
中継機設定	現在値ファイルの保存	OFF	
無線ルート設定	警報監視	OFF	
Eメール設定			
FTP設定			
警報 / モニタリング設定			
吸い上げ設定			
送信テスト			
ツール			
	モニタリング 現在値のモニタリングを行うかり	皆定します。	
		元に戻す 開	53 (11/

# 2 子機登録をする

1. 設定画面で[子機設定]をクリックします。 2. 手元に子機を準備し、[登録]ボタンをクリックします。



3. 画面の指示に従って子機をRTR-500Cに接続します。

### RTR-501 / 502 / 503 / 505 / 507S



子機を RTR-500C にのせます。

\* 光通信部を下向きにし、親機の光通信部と合わせるようにしてのせてください。

#### RTR-574 / 576



### RTR-574 / 576 を接続しても画面が変わらない場合

USB ドライバのインストールに失敗している可能性があります。[機器を認識しないときは]をご覧になり、USB ドライバの確認をしてください。

### 4. [子機登録] 画面で次の情報を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

子機名	子機を識別するための名前を入力します
周波数チャンネル	親機 - 子機間の無線通信に使用する周波数チャンネルを選択します 親機を複数台設置する場合は、親機同士の無線通信が干渉するのを防ぐため、チャンネルを離して設定してください。
記録モード	ワンタイム: 記録データが上限に達すると記録を停止します
	エンドレス: 記録データが上限に達すると、一番古いデータか ら上書きし記録を続けます
記録間隔	記録間隔を選択します

#### 記録間隔と記録可能時間の例

4 44			
1秒	30 秒	15 分	60 分
1 時間 26 分	約5日13時間	約 166 日 16 時間	約1年10ヶ月
2 時間 13 分	約2日18時間	約 83 日 8 時間	約 11 ヶ月
1	時間 26 分時間 13 分	時間26分         約5日13時間           時間13分         約2日18時間	時間 26 分         約5 日 13 時間         約 166 日 16 時間           時間 13 分         約 2 日 18 時間         約 83 日 8 時間

RTR-503 / 507S / 574 / 576(データ記録容量 8,000 個) 例:記録間隔 30 秒×データ数 8,000 個 =240,000 秒(約 2 日 18 時間)



5. 子機登録が完了すると、子機は記録を開始します。複数の子機を登録す る場合は、手順1. から繰り返してください。

子機の登録内容は後から変更できます。登録内容の変更方法、設定項目の詳細については、[操作ガイド]-[便利な機能]をご覧ください。

# 3 設置をする

### 電波強度を確認しながら子機を設置します。





・電波強度を確認する方法は、裏面の[①DS 電波強度の確認方法]をご覧ください。
 ・[はじめにお読みください]の[無線通信機器設置時の注意事項]をご覧ください。
 ・中継機を増設することで障害物を迂回したり、伝送距離を延ばすことができます。詳しくは、裏面の(中継機として使ってみよう)をご覧ください。

